

第15号科学衛星 (ASTRO-D) の打上げ結果の評価について (技術評価部会報告書案概要)

1. 打上げ結果概要

- ・ 1993年2月20日11:00、文部省宇宙科学研究所鹿児島宇宙空間観測所から、M-3SII-7号機により打上げ。
- ・ 衛星は発射後約9分後、当初計画された軌道にほぼ正確に投入された。
- ・ 太陽電池パネル展開、X線望遠鏡の伸展等全てのオペレーションが正常に行われ、現在順調に観測を継続中。

なお、第2段ロケット二次推力方向制御 (TV C) 装置の不具合による打上げ延期については以下のとおり。

状況：当初打上げ予定日 (2月12日) に向けた準備中、M-3SIIロケット第2段二次推力方向制御 (TV C) 装置の電磁弁Oリングから噴射液の漏洩があり、周辺回路が汚染されたため、それらを良品と交換する必要が生じ、打上げが8日間延期された。

原因：ロケット組立段階において、洗浄用のフレオンの代わりに使用した「代替フロン」により、電磁弁のOリングが過大に膨張し、変形したためと判明。

対策：Oリングの材質変更により、今後の打上げにも影響はないと考えられる。

2. 総合意見 (報告書より抜粋)

M-3SIIロケット7号機による第15号科学衛星 (ASTRO-D) の打上げについては、ASTRO-Dの略円軌道への投入に成功し、搭載機器も正常に動作していることから、所期の目的を達成したものと考えられる。